

Ⅱ 幼稚園教諭

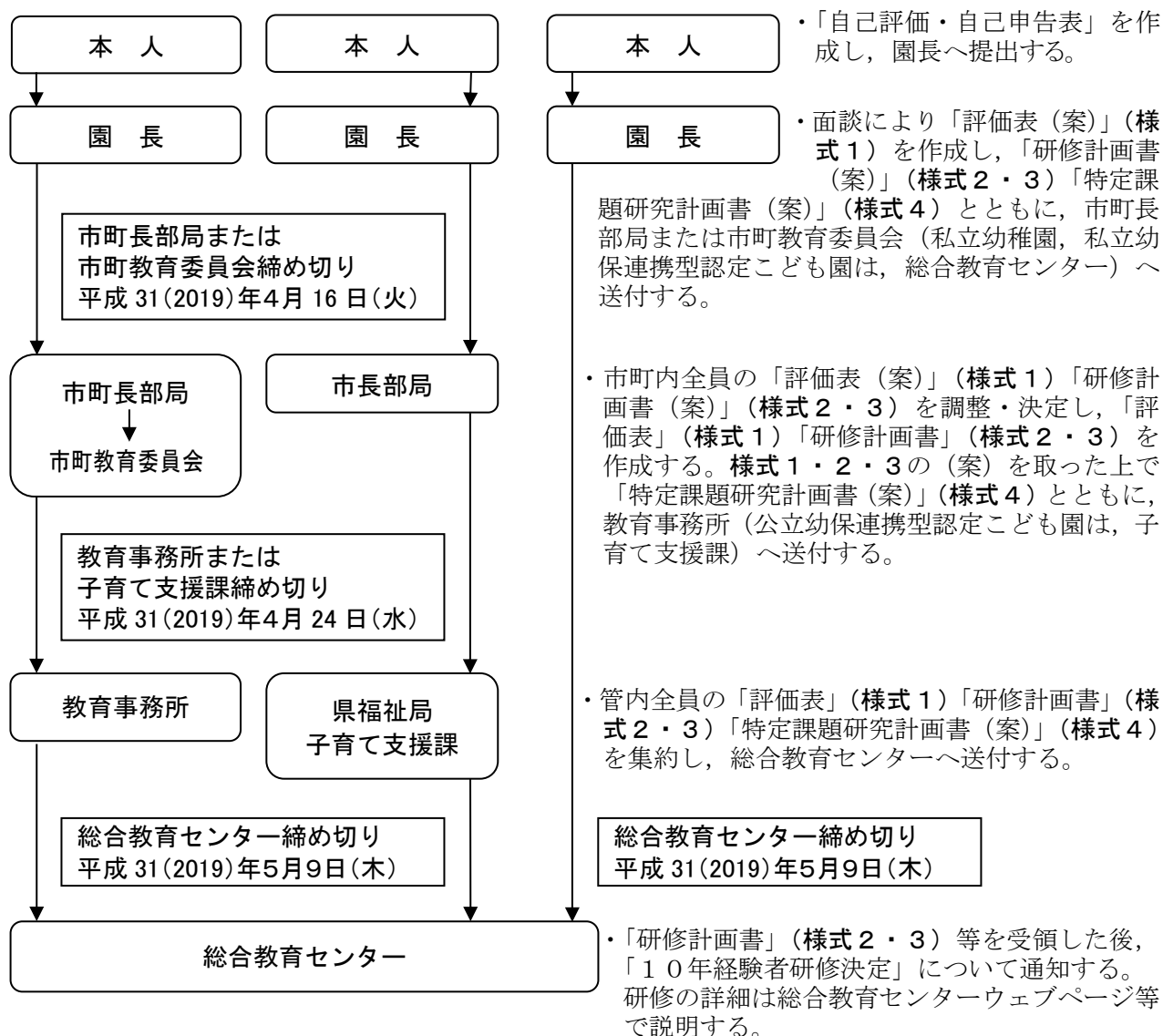
1 受講前の提出書類について

(1) 提出書類

- ・ 評価表（案） 様式 1 (p. 7)
- ・ 園外研修計画書（案） 様式 2 (p. 12)
- ・ 園内研修計画書（案） 様式 3 (p. 97)
- ・ 特定課題研究計画書（案） 様式 4 (p. 99)
- ・ 鑑 様式※ (p. 8)

(2) 提出先と期限

<公立幼稚園> <公立幼保連携型認定こども園> <私立幼稚園・私立幼保連携型認定こども園>



2 評価表（案）の作成（受講前：園長）

(1) 作成に当たって

研修者に自らの課題や適性、得意分野等を再認識させ、研修意欲を喚起するとともに、研修内容が研修者にとって、より適切なものとなるよう評価を行う。

園長は、次のことに留意して p. 7 に示す「評価表（案）」（様式 1）を作成する前の準備を行う。

- ①研修者に p. 6 の「自己評価・自己申告表」（モデル案）を示し，p. 5 に示す幼稚園教諭の「評価項目」に基づいて自己評価をさせる。
- ②研修者の保育指導等の状況を計画的に観察し，主任（主査教諭）の協力を得つつ，状況をつかむ。
- ③「自己評価・自己申告表」（モデル案）を基に，研修者と面接を行う。

(2) 評価表の記入方法について

ア 様式について

p. 7 様式 1 を参照する。

イ 「1 評価」について

p. 5 に示す幼稚園教諭の評価項目について，次の評価基準に基づき，評価を記入する。

評 価 基 準	評価
中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等に求められる程度以上に，優れている。	4
中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等に求められる一般的な程度を十分に満たしている。	3
中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等に求められる最低限の程度を満たしている。	2
中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等に求められる最低限の程度を満たしていない。	1

ウ 「2 得意分野として今後伸ばしたいと思う領域等とその概要」について

「10年経験者研修」の趣旨である「能力，適性等に応じた指導力の向上と得意分野づくり」を踏まえ，これまで努力した点や園内研修における「特定課題研究」で，更に充実，深化させたい研究につながる事項を記述する。

エ 「3 園長所見」について

園長は，研修者の自己評価等に基づいて面接を行った後，所見を文章で記述する。

オ 幼稚園教諭の「評価項目」

1 幼児の指導に関する評価項目

(1) 計画

ア 園の教育課程の具体的実施計画として，長期，短期の指導計画を構造的に作成している。

イ 個々の幼児の理解と発達課題に応じた指導計画を作成している。

ウ 日々の保育の記録をとり，自ら検討するとともに，教員間で話し合い，次の指導計画に生かしている。

エ ティーム保育の場合に，互いの考えを十分に理解し合い，指導計画を作成している。

(2) 環境の設定

ア 幼児の自発的な活動を引き出し，ねらいを達成できる遊具，用具，材料を適切に準備し，配置している。

イ 他学級との関係，自然環境，地域の特徴なども生かす保育の場の設定をしている。

ウ 季節，1日の流れなどの時間的要因も環境として捉え，保育に生かすよう配慮している。

エ 幼児の実際の活動に合わせ，的確に環境を再構成できる。

(3) 保育の方法・展開

ア 個々の幼児の特性を理解し，幼児同士の関係を的確に把握している。

イ 温かい態度で受け止めることによって，幼児の緊張，不安をうまく解消している。

ウ 個々に応じた働きかけにより，信頼関係を早期に築くことができる。

エ 幼児とともに活動することを心から楽しむことができる。

オ 幼児に共感し，満足感や心の安定を与えている。

カ 活動の中で，善悪の判断，思いやりの気持ちなどを適切な言葉と行動で示している。

キ 個々に応じた適切な援助を行っている。

2 学級・学年経営その他に関する評価項目

(1) 学級・学年経営

- ア 園教育目標や経営方針などに基づいて学級（学年）経営案を立て、その具現化を図るとともに、適宜、評価を行い、改善に努めている。
- イ 学級目標や学年目標の設定を工夫し、その実現に向けた取組が適切である。
- ウ 個々の幼児を学級の一員として大切にすることにより、幼児同士が互いを大切にする学級になっている。
- エ 施設設備の安全管理、幼児への安全指導が万全である。

(2) 保護者・地域との連携

- ア 家庭との連携が緊密で、個々の幼児について、入園前や家庭での生活の様子を把握し、保育に生かしている。
- イ 保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに、子育てのよき相談相手となっている。
- ウ 事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速かつ的確である。
- エ 機会を捉えて、地域の人に幼稚園を理解してもらうよう努力している。
- オ 地域の行事などに積極的に参加しようとし、地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識をもっている。

(3) 園務

- ア 園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている。
- イ 園全体の運営について自分のこととして常に考え、職員会議等において、建設的な発言をしている。

(4) その他

- ア 中堅教員として、他の教員と連携・協力を適切に行うとともに後進の指導を意識的に行っている。また、担当する分掌についての確に責任を果たしている。
- イ 必要に応じて、園長などにきちんと報告、連絡、相談を行っている。
- ウ 自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている。

〔自己評価・自己申告表〕モデル案)

幼稚園10年経験者研修「自己評価・自己申告表」 平成31年4月 日作成

研修者 職・氏名	
----------	--

1 評価

1 幼児の指導に関する評価	(1) 計 画	(2) 環境の設定	(3) 保育の方法・展開	
2 学級・学年経営その他に関する評価	(1) 経 営	(2) 連 携	(3) 園 務	(4) その他

2 得意分野として今後伸ばしたいと思う領域等とその概要

<div style="border-bottom: 1px dotted black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dotted black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dotted black; margin-bottom: 5px;"></div>
--

様式 1 (幼稚園 教諭用)

幼稚園 10 年経験者研修評価表 (案)

研修者 職・氏名	
----------	--

1 評価

1 幼児の指導に関する評価	(1) 計 画	(2) 環境の設定	(3) 保育の方法・展開	
2 学級・学年経営その他に関する評価	(1) 経 営	(2) 連 携	(3) 園 務	(4) その他

2 得意分野として今後伸ばしたいと思う領域等とその概要

3 園長所見

年 月 日

園 名

園長名



【注意】私印

様式※ 鑑の書式例

○○○教育委員会教育長（…公立幼稚園の場合） ○○○部局長（…公立幼稚園・こども園の場合） 殿 愛知県総合教育センター所長（…私立園の場合） <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">園 名 園長名</div>	文 書 番 号 ○○年○月○日 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">印</div>	【注意】 職印								
平成31年度10年経験者研修「評価表（案）」、「研修計画書（案）」 及び「特定課題研究計画書（案）」について このことについて、下記のとおり提出します。 記										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">研修者 職・氏名</th> <th style="width: 70%;">提 出 様 式（部数，合計枚数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教 諭 ○○○○</td> <td>様式1，2，3，4（各1部，計4部）</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			研修者 職・氏名	提 出 様 式（部数，合計枚数）	教 諭 ○○○○	様式1，2，3，4（各1部，計4部）				
研修者 職・氏名	提 出 様 式（部数，合計枚数）									
教 諭 ○○○○	様式1，2，3，4（各1部，計4部）									

3 計画書（案）の作成に当たって（受講前：研修者）

10年経験者研修の趣旨を生かし、研修者の資質・能力の向上に資することを目的に、園外研修・園内研修・特定課題研究の計画を立てる。

- (1) 研修者は、園長・主任（主査教諭）等の助言を得ながら、「園外研修計画書（案）」（様式2）・「園内研修計画書（案）」（様式3）・「特定課題研究計画書（案）」（様式4）の3つの計画書（案）を作成する。作成に当たり、研修が園の教育活動に支障を来さないよう計画する。
- (2) 園長は、3つの計画書（案）を評価表（案）とともに、公立幼稚園においては市町長部局または市町教育委員会、公立幼保連携型認定こども園においては市長部局、私立幼稚園及び私立幼保連携型認定こども園においては総合教育センターへ提出する。

4 園外研修計画書（案）の作成（受講前：研修者）

園外研修は、総合教育センター等における研修が3日間、eラーニング研修が2日間、異校種・社会体験研修が2日間、合わせて7日間の研修である。幼稚園教諭は以下の園外研修の説明を参考にしながら、p.12の「平成31年度10年経験者研修園外研修計画書（案）」（様式2）を作成する。

(1) 園外研修【総合教育センター等における研修】（3日間）

開 催 日	研 修 領 域	内 容
7月23日（火）	保育専門研修	講義・協議「幼稚園教育の現状と課題」「中堅教員に求められる専門性」
		講義・演習「教育課程と指導計画」

7月29日(月)	保育専門研修	講義「カウンセリングマインドを生かした幼児，保護者との関わり」 協議「悩みを抱えた保護者との関わり」
	選択研修	次の講義から一つを選び研修する。 ① 思考力の基礎を培う保育 幼児が遊びの中で周囲の環境と関わり，考えることの楽しさや喜びに気づき，自ら考えようとする気持ちを育てる保育について学ぶ。 ② 協同性を育てる保育 幼児が互いに関わりを深め，協同して遊ぶようになる発達のプロセスと，幼児への関わり方や環境の構成について学ぶ。
8月6日(火)	共通研修 [今日的課題]	講義・演習「幼小の円滑な接続」(幼・小) 幼稚園と小学校の円滑な接続を図るための具体的な取組や課題等について，情報交換や意見交流を行う。 講義「教員の服務」
	選択研修	次の講義・実習から一つを選び研修する。 ① 環境の構成と教材の工夫～絵画制作～ 絵画制作を通して育てたいこと，画材や材料の種類・使い方・出し方などについて，意見交換をしたり実習をしたりする。 ② 環境の構成と教材の工夫～運動遊び・リズム遊び～ 体を動かして遊ぶことの意義，遊び方・場の整え方・用具の用意の仕方などについて，意見交換をしたり実習をしたりする。

- ・選択研修については，研修者の希望を基に講座を編成する。
- ・保育専門研修，選択研修では，事前に課題や協議資料の提出などが課される。実施要項，研修の内容や課題，ダウンロード様式等については，5月下旬に総合教育センターウェブページにアップロードするので，確認すること。

(2) 園外研修【eラーニング研修】(2日間 ※全ての教材を学習して2日間分とする。)

学習に際しては，総合教育センターウェブページにアップロードする平成31年度研修事業案内p.64～p.67「IV eラーニング研修の実施について」を参照するとともに，以下の点に留意する。

ア 学習する教材

日	教材名	学習期間
1	「10年経験者研修を受講するに当たって」	平成31(2019)年6月3日(月)から 平成31(2019)年7月5日(金)まで
	◇「特定課題研究の進め方とまとめ方」	
2	「人権教育について(基礎編)」	平成31(2019)年8月26日(月)から 平成32(2020)年1月10日(金)まで
	「ESD(持続発展教育)について」	
	「発達障害の理解①～基礎的な理解と具体的な支援～」	

◇「特定課題研究の進め方とまとめ方」は，平成31(2019)年8月20日(火)から平成32(2020)年1月10日(金)まで再度学習できる。

イ 受講ガイダンス

- ・教材を学習する前に，必ず，総合教育センターウェブページにアップロードする受講ガイダンスを読む。

- ・アクセス方法は、総合教育センターウェブページにある「eラーニング研修」のボタンをクリックし、新たにページを表示させた後、「受講ガイダンス」のボタンをクリックする。
- ・総合教育センターウェブページ <http://www.apec.aichi-c.ed.jp/>

(3) 園外研修【異校種・社会体験研修】（2日間）

ア ねらい

豊かな社会性や望ましい人間関係能力を育成するために、10年経験者研修の一環として、社会福祉施設、各種企業、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等において、異校種・社会体験研修を行い、教員としての幅広い資質・能力の向上に資する。

イ 研修時期

6月下旬から12月までの2日間

ウ 研修先

社会福祉施設、社会教育施設、企業、学校、その他の施設とし、勤務地、自宅から遠隔な研修先は避ける。

エ 研修内容

- ・異校種体験研修と社会体験研修を合わせて2日とし、2日の内訳は問わない。
- ・2日間全てを異校種体験研修にする場合は、同一校種で重ならないように、1日ずつ異なる校種で実施する。

【異校種体験研修】

異校種体験研修には「授業参観と講義、研究協議等への参加」「研究発表会・授業研究会等への参加」の2パターンがある。

研修者は、総合教育センターウェブページにアップロード（4月下旬）される「異校種体験研修受け入れ校・園一覧」（以下「受け入れ一覧」）、「研究委嘱・研究発表校（園）一覧」を基に、研修先を検討し、各自で申し込む。申し込み手順は以下のとおり。

■異校種体験研修を希望する場合の申し込み手順

●「授業参観と講義、研究協議等への参加」を希望する場合

【申し込み期日指定の学校（園）】

- ①研修者は勤務園園長と十分協議の上、「受け入れ一覧」を参考に、原則として6月11日（火）から6月18日（火）までに p. 104 に示された「申込書（様式8）」をファックスで希望する研修先に送る。
- ②研修者は希望する研修先から、6月末日までに受け入れの可否をファックスで受け取る。
- ③研修者は受け入れ可の場合、p. 107 「受け入れ依頼書（様式11）」を作成し、勤務園園長を通して研修先に事前送付する。

【随時受け入れ可能な学校（園）】

- ①研修者は勤務園園長と十分協議の上、「受け入れ一覧」を参考に、希望する研修先に研修者が連絡を取り、期日、研修内容等の確認をし、内諾を得る。
- ②研修者は受け入れ可の内諾を得た場合、勤務園園長を通して、研修先の校長に電話等で依頼し、実施日を正式決定する。
- ③研修者は正式に受け入れ可となった場合、p. 107 「受け入れ依頼書（様式11）」を作成し、勤務園園長を通して研修先に事前送付する。

●「研究発表会・授業研究会等への参加」を希望する場合

- ①研修者は「研究委嘱・研究発表校（園）一覧」及び希望する研修先のウェブページ等で研究発表の期日・申し込み方法等を確認し、勤務園園長と十分協議の上、研修者自身が申し込む。
- ②研修者は p. 104 「申込書（様式8）」を送付するとともに研修先指定の研究発表会等の参加申し込みも行う。

<異校種体験研修の留意事項>

- ・幼稚園教諭は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から1日ずつ研修先を選ぶ。
- ・研修者が特別支援学校での研修を希望する場合、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱を全て併せて1校種とするので、複数の特別支援学校での研修を実施することはできない。
- ・研修者が「研究発表会・授業研究会等への参加」を選択する場合は、異校種体験研修の趣旨にのっとり異校種で実施される研究会へ参加すること。
- ・各種様式は「10年経験者研修の手引」に掲載すると同時に、3月下旬に総合教育センターのウェブページにアップロードするので参考にする。

【社会体験研修】

福祉、環境、生涯学習、ボランティア、企業等への勤務等の社会体験活動を行う。

研修先については、研修者自身が探し、勤務園園長と相談の上決定し、最終的には、p. 107「受け入れ依頼書(様式11)」を参考にして、勤務園園長が受け入れ先に依頼する方法をとる(ただし、研修先によってはこの限りではない)。

<社会体験研修の留意事項>

- ・幼稚園教諭が、保育所・保育園・保育所型認定こども園・幼保連携型認定こども園等(分類番号①-2)で体験研修をする場合は、研修内容が似通っているため、1日とする(もう1日は、別分類の研修先を選択する)。
- ・危険を伴わない研修先を探す。
- ・職務上の命令による研修であるので、週休日や休日、勤務時間外の研修は認められない。ただし、勤務の割り振りで対応できると認められる研修については、この限りではない。

【参考】 研修先分類番号(様式2, 6などで利用)

① 社会福祉施設		② 社会教育施設		③ 企業等		④ 学校(異校種体験研修)			
1	老人福祉施設	7	公民館・市民館 文化センター	14	株式会社	18	幼稚園 幼稚園型認定こども園 幼保連携型認定こども園		
2	児童福祉施設 保育所・保育園 保育所型認定こども園 幼保連携型認定こども園	8	図書館	15	有限会社	19	小学校		
3	母子福祉施設	9	児童館・児童センター	16	合名会社	20	中学校		
4	身体障害者支援施設	10	美術館	17	その他の企業等	21	高等学校		
5	知的障害者援助施設	11	博物館・郷土館・資料館			22	特別支援学校		
6	その他の福祉施設	12 13	科学館 その他の社会教育施設						
⑤ その他									
環境保護施設	23	清掃事業施設	医療保健施設	26	スポーツ施設	30		スポーツセンター・ 体育館・武道場	
	24	環境保護施設		27		保健センター	31		野外教育施設
	25	その他の環境保護施設		28		保健所	32		その他のスポーツ施設
29				その他の医療保健施設					

※企業、団体等で分類が不明のものは、「③-17」とする。

様式2 (幼稚園 教諭用)

平成31年度10年経験者研修園外研修計画書(案)

園名		職名		氏名	
----	--	----	--	----	--

1 園外研修【総合教育センター等における研修】(合計3日間)

1	7月23日(火)	「幼稚園教育の現状と課題」「中堅教員に求められる専門性」 「教育課程と指導計画」	
2	7月29日(月)	「カウンセリングマインドを生かした幼児、保護者との関わり」 「悩みを抱えた保護者との関わり」	
		選択研修 講義・協議 「保育について」 ①思考力の基礎を培う保育 ②協同性を育てる保育	希望講座番号を一つ記入する。
3	8月6日(火)	「幼小の円滑な接続」 「教員の服務」	
		選択研修 講義・実習 「環境の構成と教材の工夫」 ①絵画制作 ②運動遊び・リズム遊び	希望講座番号を一つ記入する。

2 園外研修【異校種・社会体験研修】(合計2日間)

研修希望月	研修先(予定)分類番号 ※研修先(予定)分類番号を一つ記入する。 ※p.11の研修先分類番号を参照する。	研修先(予定) ※決定先または予定先を記入する。 ※予定の場合、校種名や業種名でよい。 ※予定は変更してもよい。変更の場合、 報告の必要はない。
例	③-17	〇〇農業協同組合
()月の予定	—	
()月の予定	—	

5 園内研修計画書（案）の作成（受講前：研修者）

保育実践を通じた保育研究や教材研究，特定課題研究のほか，研修者の能力，適性等に応じ，園内研修の項目例（p. 14）等を参考に計画を立て，「園内研修計画書（案）」をp. 97の様式3により作成する。

計画書の作成に当たっては，次のことに留意する。

- (1) 日数は，能力，適性等に応じて7日から10日の間とする。
- (2) 総合教育センター等で実施される園外研修の内容と重複しないように配慮する。
※園外研修の成果の還元を図る内容については認める。
- (3) 園内だからこそできる，園の実態に合った内容で実施する。
- (4) 指導者については，園長を中心に，園内の主任（主査教諭），ベテラン教員をはじめ地域の学識経験者等の積極的な活用を図る。
- (5) 職務上の命令による研修であるので，週休日や休日，勤務時間外の研修は認められない。ただし，勤務の割り振りで対応できると認められる研修については，この限りではない。

<園内研修計画書モデル案>

様式3（幼稚園 教諭用）

平成31年度10年経験者研修園内研修計画書（案）

園名	
研修者 職・氏名	

実施計画月	日数	研修内容	指導者等	場所等
5月	1日	○10年経験者研修の開始に向けて ・研修の意義 ・特定課題研究のテーマ設定や研究の進め方	・主任 （主査教諭）	園内
5月	1日	○園長講話 ・これからの教育の在り方 ・中堅教員に期待すること	・園長	園内
6月	1日	○園運営について		

12月	1日	○保育指導 ・研究保育 ・研究協議会 ・幼児理解	・主任 （主査教諭）	園内
2月	1日	○発表会 ・特定課題研究園内発表会	・園長，主任 （主査教諭） ・全職員	園内
10年経験者研修「園内研修」計画日数 ○○日				

<園内研修の項目例>

研修領域	園内研修の項目例	研修領域	園内研修の項目例
基礎的素養	<ul style="list-style-type: none"> ○中堅教員としての心構えとサービス ○園組織の運営と経営の在り方 ○後進の指導 ○これからの教育の在り方 ○幼稚園教育要領と教育課程の編成・実施・評価 ○園教育目標とその具現化 ○園内組織（園務分掌）の在り方 ○健康安全指導の進め方 ○危機管理体制の在り方 ○人権教育の進め方 ○環境を通して行う教育の在り方 ○食に関する指導の進め方（給食指導を含む） ○特別な支援を必要とする幼児の理解 ○公簿とその整理 ○開かれた園づくり ○P T A組織とその運営 	保育指導等	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画の作成 ○指導案の作成 ○保育指導の反省と評価 ○幼児理解の内容と方法 ○個に応じた保育指導の進め方 ○教材研究の方法と実際 ○環境の構成と教材の工夫 ○教育機器の活用 ○飼育・栽培指導の進め方 ○教員と幼児との人間関係 ○基本的生活習慣の育成 ○褒め方・叱り方 ○規範意識の芽生えを培う指導 ○教育相談の意義と実際 ○家庭連携の在り方 ○幼小の円滑な接続について ○地域連携の在り方
学級・学年経営等	<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営案の作成と活用 ○学級経営とその評価の在り方 ○保育室環境づくり ○健康観察の意義 ○幼稚園幼児指導要録の作成の仕方 ○学級通信の役割や効果 ○学年経営の理解 ○保護者との連携 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○園内行事の指導と評価の工夫 ○園図書室（コーナー）の在り方 ○園の環境衛生活動の進め方 ○園内各種研究会，委員会活動 ○園内研究保育 ○園内保育参観 ○特色ある園づくり ○交通安全指導 ○特定課題研究（調査・発表）

6 特定課題研究計画書（案）の作成（受講前：研修者）

特定課題研究は、必修とし、園内研修の中核に位置付ける。そのテーマは、「評価表（案）」に記述した「得意分野として伸ばすべき、特に優れた指導力等を有する分野等」の内容を、更に発展・充実させることを目的として設定する。

年度末には、園内で研究発表会を開催する。「特定課題研究計画書（案）」は p. 99 の様式 4 に従い作成する。

7 研究の進め方及び報告書の提出（受講後：研修者）

計画を基に実践研究を進め、全ての研修が終了後、報告書を作成し、提出する。

(1) 研究の進め方

- ・ e ラーニング研修「特定課題研究の進め方とまとめ方」（6月上旬視聴開始）を参考にして適宜研究を進めていく。
- ・ 研修教材の資料をダウンロードして参考にする。

(2) 特定課題研究報告書（様式 5）

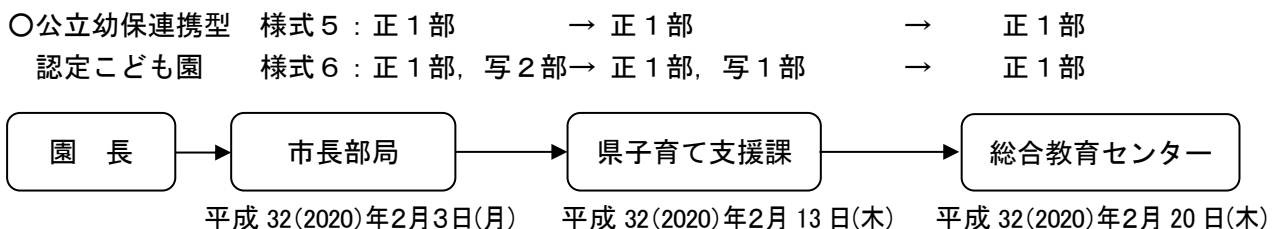
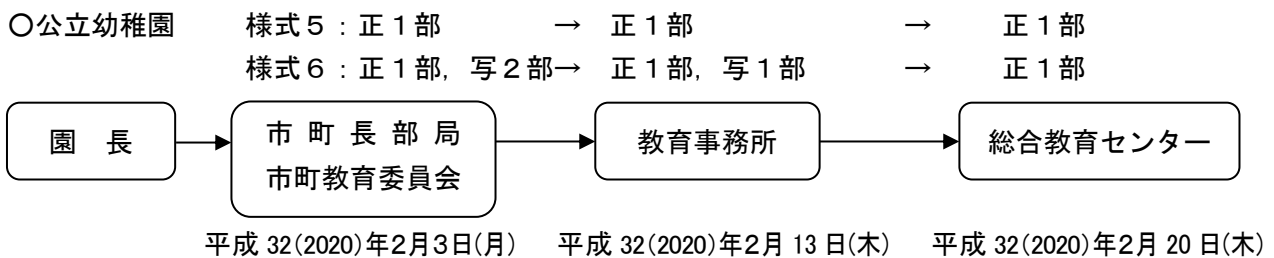
p. 100 の様式に従い、報告する。

特定課題研究の要旨を A4 判用紙、4 ページ（両面印刷 2 枚）以上にまとめる。

(3) 10 年経験者研修実施報告書（様式 6）

p. 101 の様式に従い、全ての 10 年経験者研修に関する研修を月日順に記載し、報告する。

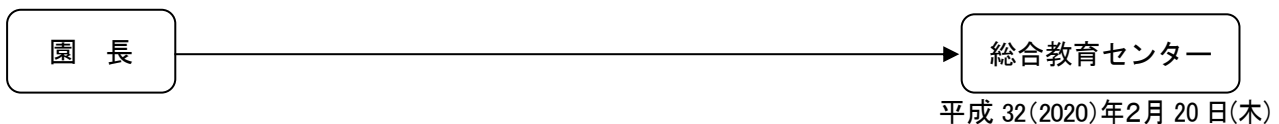
(4) 様式 5・6 の提出先と提出期限



○私立幼稚園

○私立幼保連携型認定こども園

様式 5・6 : 正 1 部



※封筒の表左隅に、10 年経験者研修実施報告書・特定課題研究報告書 在中 と朱書きする。

8 事後評価

研修終了後、園長は本表（様式7）により事後評価を行い、今後の指導や研修に活用する。

様式7（幼稚園 教諭用）

平成31年度10年経験者研修事後評価表

研修者 職・氏名	
----------	--

1 評価

1 幼児の指導に関する評価	(1) 計 画	(2) 環境の設定	(3) 保育の方法・展開	
2 学級・学年経営その他に関する評価	(1) 経 営	(2) 連 携	(3) 園 務	(4) その他

2 園長所見

園 名

園長名

印



【注意】私印

※本表（様式7）は、幼稚園で保管する（愛知県総合教育センター等への提出は要しない）。